

COPY OF PAPERS
ORIGINALLY FILED

2622
Dkt. 2271/64894



IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Application of : Shinichi NISHIMURA

Serial No. : 09/843,177

COPY OF PAPERS
ORIGINALLY FILED

Group Art Unit: 2622

Date Filed : April 26, 2001

Examiner:

For : FACSIMILE DEVICE SELECTING TRANSMISSION METHOD
APPROPRIATE FOR EACH TRANSMISSION

1185 Avenue of the Americas
New York, N.Y. 10036

Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

RECEIVED

FEB 27 2002

CLAIM FOR PRIORITY UNDER 35 U.S.C. §119 Technology Center 2600

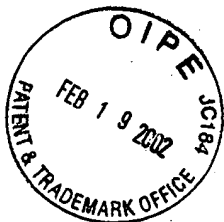
Applicant hereby claims priority under 35 U.S.C. §119. Applicant hereby transmits
certified copies of the following priority applications:

<u>Application No.</u>	<u>Filed in Japan</u>
2000-129161	April 28, 2000
2001-085351	March 23, 2001

Respectfully submitted,

I hereby certify that this paper is being deposited this date with the U.S. Postal Service as first class mail addressed to: Assistant Commissioner for Patents, Washington D.C. 20231.	
	January 30, 2002
Richard F. Jaworski	Date
Reg. No. 33,515	

RICHARD F. JAWORSKI
Registration No. 33,515
Attorney for Applicant
Cooper & Dunham LLP
Tel.: (212) 278-0400



日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 4月28日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-129161

出 願 人

Applicant(s):

株式会社リコー

RECEIVED

FEB 27 2002

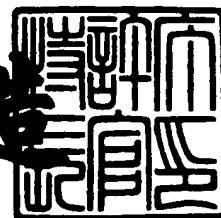
Technology Center 2600

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 5月11日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3038313

【書類名】 特許願

【整理番号】 9905630

【提出日】 平成12年 4月28日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04L 12/66
H04L 12/28
H04L 12/56
H04N 1/00

【発明の名称】 ファクシミリ装置

【請求項の数】 5

【発明者】
【住所又は居所】 東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号 株式会社リコー内
【氏名】 西村 伸一

【特許出願人】
【識別番号】 000006747
【氏名又は名称】 株式会社リコー
【代表者】 桜井 正光

【手数料の表示】
【予納台帳番号】 003724
【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】
【物件名】 明細書 1
【物件名】 図面 1
【物件名】 要約書 1

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ファクシミリ装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 コンピュータネットワーク網を介して電子メールタイプで画情報を送信するための電子メール型通信制御部と、前記コンピュータネットワーク網を介して相手機と接続した状態で画情報を送信するためのリアルタイム型ネットワーク通信制御部とを備えたファクシミリ装置において、前記コンピュータネットワーク網を介して発信するための宛先アドレス毎に前記電子メール型通信制御部で送信を行うか前記リアルタイム型ネットワーク通信制御部で送信を行うかを指定するネットワーク送信方法指定手段を備え、宛先アドレスが送信先として指定された場合には、該指定された宛先アドレスに対応して前記ネットワーク送信方法指定手段で指定された前記通信制御部を用いて送信を行うことを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項 2】 電話回線網を介して相手機との間で所定のファクシミリ伝送手順に従って画情報をやりとりするためのファクシミリ通信制御部と、コンピュータネットワーク網を介して電子メールタイプで画情報を送信するための電子メール型通信制御部と、前記コンピュータネットワーク網を介して相手機と接続した状態で画情報を送信するためのリアルタイム型ネットワーク通信制御部と、各宛先について前記電話回線網を介して発呼するための宛先番号か前記コンピュータネットワーク網を介して発信するための宛先アドレスかを登録する宛先テーブルとを備え、該宛先テーブルは、前記登録された各宛先アドレス毎に前記電子メール型通信制御部で送信を行うか前記リアルタイム型ネットワーク通信制御部で送信を行うかの送信方法も登録可能であり、前記宛先テーブルに登録されている宛先アドレスが送信先として指定された場合には、前記宛先テーブルに登録された送信方法に基づく前記通信制御部を用いて送信を行うことを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項 3】 電話回線網を介して相手機との間で所定のファクシミリ伝送手順に従って画情報をやりとりするためのファクシミリ通信制御部と、コンピュータネットワーク網を介して電子メールタイプで画情報を送信するための電子メ

ール型通信制御部と、前記コンピュータネットワーク網を介して相手機と接続した状態で画情報を送信するためのリアルタイム型ネットワーク通信制御部と、各宛先について前記電話回線網を用いて発呼するための宛先番号か前記コンピュータネットワーク網を介して発信するための宛先アドレスかを登録し、かつ、該登録された各宛先アドレス毎に前記電子メール型通信制御部で送信を行うか前記リアルタイム型ネットワーク通信制御部で送信を行うかの送信方法も登録可能な宛先テーブルと、前記電子メール型通信制御部で送信を行うか前記リアルタイム型ネットワーク通信制御部で送信を行うかを指定するネットワーク送信方法指定手段とを備え、前記宛先テーブルに登録されている宛先アドレスが送信先として指定された場合には、前記宛先テーブルに登録された送信方法を前記ネットワーク送信方法指定手段に設定し、該ネットワーク送信方法指定手段における該設定の切り替えを可能とした後に該ネットワーク送信方法指定手段で指定された前記通信制御部を用いて送信を行うことを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項4】 電話回線網を介して相手機との間で所定のファクシミリ伝送手順に従って画情報をやりとりするためのファクシミリ通信制御部と、コンピュータネットワーク網を介して電子メールタイプで画情報を送信するための電子メール型通信制御部と、前記コンピュータネットワーク網を介して相手機と接続した状態で画情報を送信するためのリアルタイム型ネットワーク通信制御部と、宛先毎に直接送信で送信を行うかメモリ送信で送信を行うかの送信方法を指定する直接送信／メモリ送信指定手段とを備えたファクシミリ装置において、該直接送信／メモリ送信指定手段は、前記送信方法毎に前記電子メール型通信制御部で送信を行うか前記リアルタイム型ネットワーク通信制御部で送信を行うかの指定も可能であり、前記コンピュータネットワーク網を介して発信するための宛先アドレスが送信先として指定された場合には、該指定された宛先アドレスに対応して前記直接送信／メモリ送信指定手段で指定された送信方法に基づく前記通信制御部を用いて送信を行うことを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項5】 請求項4に記載のファクシミリ装置において、前記指定された宛先アドレスに対応して前記直接送信／メモリ送信指定手段で指定された送信方法が前記直接送信の場合には前記リアルタイム型ネットワーク通信制御部で送

信を行い、前記指定された宛先アドレスに対応して前記直接送信／メモリ送信指定手段で指定された送信方法が前記メモリ送信の場合には前記電子メール型通信制御部で送信を行うことを特徴とするファクシミリ装置。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ファクシミリ装置、より詳細には、電話回線網及びコンピュータ通信ネットワーク網を介して、相手機との間で所定のファクシミリ伝送手順に従って画情報をやりとりする通信機能を有するファクシミリ装置における送信方法の指定方法に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

従来技術によるファクシミリ装置では、電話回線網を介して、相手機との間で所定のファクシミリ伝送手順に従って画情報のやりとりを行っており、受信機との能力交換後、受信機が受信できる主走査サイズ、解像度、符号化方式及び色（白黒又はカラー）で送信機は画情報を送信する。

【 0 0 0 3 】

また、近年、ローカルエリアネットワークやインターネット等のコンピュータネットワーク網を介して、画情報の送信や受信を行う機能を備えたファクシミリ装置が実用化されてきている。

コンピュータネットワーク網を介したファクシミリ通信方法としては、ITU-T勧告T.37で規定された“STORE AND FORWARD”タイプ（電子メールタイプ）と、ITU-T勧告T.38で規定された“REAL TIME”タイプ（リアルタイム型）とがある。

上記電子メールタイプは、画情報を電子メールの添付ファイルとして送信するもので、上記リアルタイム型は、電話回線網を介したファクシミリ通信と同様にコンピュータネットワーク網を介して相手機と接続した状態で能力交換や画情報の送信や送達確認を行うものである。

【 0 0 0 4 】

電話回線網を介したファクシミリ通信では、コンピュータネットワーク網を介したファクシミリ通信に対して、機密性や確実性や即時性で勝っているが、通信コストが高くなるという欠点がある。逆に、コンピュータネットワーク網を介したファクシミリ通信では、電話回線網を介したファクシミリ通信に対して、通信コストが安くなるという長所はあるが、機密性や確実性や即時性の点で一定の不具合を有する。

【0005】

また、コンピュータネットワーク網を介したファクシミリ通信でも、リアルタイム型は、能力交換を行うことにより、用紙サイズや解像度や画情報符号化方式で最適化が行える点や送達確認が即時に行える点等で、電子メールタイプよりも勝っているが、リアルタイム型通信能力を持たない装置が未だ多いこと、受信側に含まれるネットワークのファイアウォールを通過できずに通信を失敗する可能性や、また、間にサーバ等が入るために、応答のディレイの問題から通信を失敗する可能性があるという点で一定の不具合を有する。

【0006】

このような電話回線網とコンピュータネットワーク網とを介しての通信が可能な従来技術によるファクシミリ装置では、電話回線網を介した送信か、コンピュータネットワーク網を介した送信かは、オペレータ操作によって選択されていた。

しかしながら、オペレータ操作により、電話回線網を介して送信を行うかコンピュータネットワーク網を介して送信を行うかをいちいち選択するのは手間であり、また、各長所を活かせない場合も発生する等の不具合がある。

【0007】

従来技術において、電話回線網とコンピュータネットワーク網とを介しての通信が可能なファクシミリ装置として、例えば、特開平10-65866号公報、特開平10-107938号公報、特開平10-243019号公報、特開平11-215338号公報に開示されたものがある。

上記特開平10-65866号公報の「ファクシミリ装置」は、電話回線網及びコンピュータネットワーク網に接続可能なファクシミリ装置において、相手機

の電話回線網の宛先番号とコンピュータネットワーク網の宛先アドレスとの組を登録した電話番号変換テーブル手段を備え、送信操作時に、指定された宛先番号が電話番号変換テーブルに登録されている場合には、対応する宛先アドレスを取り出し、コンピュータネットワークを介してこの宛先アドレスに画情報を送信するというものである。

【0008】

また、上記特開平10-107938号公報の「画像伝送システム及び画像伝送システムのサーバ」は、コンピュータネットワーク網を形成し、コンピュータネットワーク網の各端末間の接続をサーバを介して行うシステムであって、画像の送信側端末は端末が含まれるサーバを介してコンピュータネットワーク網と接続すると共に受信側端末を指定し、受信側端末は端末が含まれるサーバを介してコンピュータネットワーク網に接続され、送信側端末は画像データをコンピュータネットワーク網に適した形式で受信側端末に送り、受信側端末は受信した画像データから画像を再生するというものである。

【0009】

また、上記特開平10-243019号公報の「データ通信装置」は、電話回線網及びコンピュータネットワーク網に接続可能なデータ通信装置において、相手機の電話回線網の宛先番号とコンピュータネットワーク網の宛先アドレスとの組を登録した登録手段を備え、送信操作時に登録手段に登録された宛先が指定された場合に、直接送信は電話回線網を介した通信とし、メモリ送信はコンピュータネットワーク網を介した通信とする、またはハーフトーンモードはコンピュータネットワーク網を介した通信とし、文字モードは電話回線網を介した通信とする、または、通信情報量が多い場合にはコンピュータネットワーク網を介した通信とし、少ない場合は電話回線網を介した通信とする、または、通信終了要求時間が短い場合にはコンピュータネットワーク網を介した通信とし、長い場合は電話回線網を介した通信とするもので、コンピュータネットワーク網を介した通信に失敗した場合には電話回線網を介して送信するというものである。

【0010】

また、上記特開平11-215338号公報の「ファクシミリ装置」は、電話

回線網及びコンピュータネットワーク網に接続可能なファクシミリ装置において、相手機の電話回線網の宛先番号とコンピュータネットワーク網の宛先アドレスとが組で登録可能で、両方を登録した各宛先では宛先番号と宛先アドレスの何れを優先させるかの優先情報も登録可能で、この両方を登録した宛先への送信時には優先情報で送信方法を決定し、また、両方を登録した宛先が選択された場合には登録されている優先情報を表示するというもので、送信前にこの優先情報を変更する手段を持つというものである。

【0011】

また、本出願人が先に考案した「ファクシミリ装置」は、電話回線網を介した送信を行うファクシミリ通信制御部と、コンピュータネットワーク網を介して電子メールタイプで画情報を送信する電子メール型通信制御部と、コンピュータネットワーク網を介して相手機と接続した状態で画情報を送信するリアルタイム型ネットワーク通信制御部と、各々の宛先について電話回線網を介して発呼する宛先番号とコンピュータネットワーク網を介して発信する宛先アドレスとの組を登録した宛先テーブルを備え、送信操作で指定された宛先が宛先テーブルに宛先番号と宛先アドレスとを共に登録されている場合には、先ずリアルタイム型ネットワーク通信制御部を用いてコンピュータネットワーク網を介して送信を開始し、この送信が失敗した場合には、原稿読み取り解像度によってファクシミリ通信制御部あるいは電子メール型通信制御部を用いて送信するかを切り替え、または、リアルタイム型ネットワーク通信制御部を用いた送信が失敗した場合には、送信原稿サイズによってファクシミリ通信制御部あるいは電子メール型通信制御部を用いて送信するかを切り替えるというものである。

【0012】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上記特開平10-65866号公報に開示されたものは、コンピュータネットワーク網での通信に失敗した場合には電話回線網から送信を行うが、ユーザの要求に応じて、リアルタイム型と電子メール型との送信の切り替えを行うことができないという不具合がある。

【0013】

また、上記特開平10-107938号公報に開示されたものは、コンピュータネットワーク網を介したリアルタイム型のファクシミリ通信を可能にするものであるが、これも、ユーザの要求に応じて、リアルタイム型と電子メール型との送信の切り替えを行うことができないという不具合がある。

【0014】

また、上記特開平10-243019号公報に開示されたものは、リアルタイム型の送信を効率良く使えず、また、ユーザの要求に応じて、リアルタイム型と電子メール型との送信の切り替えもできないという不具合が残る。

【0015】

また、上記特開平11-215338号公報に開示されたものは、これも、ユーザの要求に応じて、リアルタイム型と電子メール型との送信の切り替えを行うことができないという不具合がある。

【0016】

また、上記本出願人が先に考案した「ファクシミリ装置」では、コンピュータネットワーク網を介した宛先アドレスへの通信は、先ずリアルタイム型ネットワーク通信制御部を用いた送信で行われるため、相手先がリアルタイム型ネットワーク通信に対応していないことが既知の場合に、電子メールタイプに切り替えることができず、無駄な電力や時間の消費及びネットワークの負荷増大を招いてしまうという欠点がある。

【0017】

本発明は、上述のような実情を考慮してなされたもので、

(1) コンピュータネットワーク網を介した送信で、相手機がリアルタイム型通信能力を所持していないことが既知の場合には電子メールタイプを選択し、また、相手機と能力交換を行って最適な画情報を送信したいあるいは送達確認を即時に行いたいとき等にはリアルタイム型を選択する、というユーザの要求に応じて電子メールタイプかリアルタイム型かを指定可能とする、

(2) 上記(1)に対して、送信毎に電子メールタイプかリアルタイム型かを指定する手間を省略できるようにする、

(3) 上記(2)に加えて、送信前に必要に応じて電子メールタイプかリアルタ

イム型かを切り替えることを可能とする、

(4) 上記(1)に対して、使い勝手の良さを残したまま、電子メールタイプからリアルタイム型かを指定可能とする手段を他と共用にすることにより、低コスト化を図る

ことにより、より使い勝手の良いファクシミリ装置を提供することを目的としてなされたものである。

【0018】

【課題を解決するための手段】

請求項1の発明は、コンピュータネットワーク網を介して電子メールタイプで画情報を送信するための電子メール型通信制御部と、前記コンピュータネットワーク網を介して相手機と接続した状態で画情報を送信するためのリアルタイム型ネットワーク通信制御部とを備えたファクシミリ装置において、前記コンピュータネットワーク網を介して発信するための宛先アドレス毎に前記電子メール型通信制御部で送信を行うか前記リアルタイム型ネットワーク通信制御部で送信を行うかを指定するネットワーク送信方法指定手段を備え、宛先アドレスが送信先として指定された場合には、該指定された宛先アドレスに対応して前記ネットワーク送信方法指定手段で指定された前記通信制御部を用いて送信を行うことを特徴としたものである。

【0019】

請求項2の発明は、電話回線網を介して相手機との間で所定のファクシミリ伝送手順に従って画情報をやりとりするためのファクシミリ通信制御部と、コンピュータネットワーク網を介して電子メールタイプで画情報を送信するための電子メール型通信制御部と、前記コンピュータネットワーク網を介して相手機と接続した状態で画情報を送信するためのリアルタイム型ネットワーク通信制御部と、各宛先について前記電話回線網を介して発呼するための宛先番号か前記コンピュータネットワーク網を介して発信するための宛先アドレスかを登録する宛先テーブルとを備え、該宛先テーブルは、前記登録された各宛先アドレス毎に前記電子メール型通信制御部で送信を行うか前記リアルタイム型ネットワーク通信制御部で送信を行うかの送信方法も登録可能であり、前記宛先テーブルに登録されてい

る宛先アドレスが送信先として指定された場合には、前記宛先テーブルに登録された送信方法に基づく前記通信制御部を用いて送信を行うことを特徴としたものである。

【 0 0 2 0 】

請求項 3 の発明は、電話回線網を介して相手機との間で所定のファクシミリ伝送手順に従って画情報をやりとりするためのファクシミリ通信制御部と、コンピュータネットワーク網を介して電子メールタイプで画情報を送信するための電子メール型通信制御部と、前記コンピュータネットワーク網を介して相手機と接続した状態で画情報を送信するためのリアルタイム型ネットワーク通信制御部と、各宛先について前記電話回線網を用いて発呼するための宛先番号か前記コンピュータネットワーク網を介して発信するための宛先アドレスかを登録し、かつ、該登録された各宛先アドレス毎に前記電子メール型通信制御部で送信を行うか前記リアルタイム型ネットワーク通信制御部で送信を行うかの送信方法も登録可能な宛先テーブルと、前記電子メール型通信制御部で送信を行うか前記リアルタイム型ネットワーク通信制御部で送信を行うかを指定するネットワーク送信方法指定手段とを備え、前記宛先テーブルに登録されている宛先アドレスが送信先として指定された場合には、前記宛先テーブルに登録された送信方法を前記ネットワーク送信方法指定手段に設定し、該ネットワーク送信方法指定手段における該設定の切り替えを可能とした後に該ネットワーク送信方法指定手段で指定された前記通信制御部を用いて送信を行うことを特徴としたものである。

【 0 0 2 1 】

請求項 4 の発明は、電話回線網を介して相手機との間で所定のファクシミリ伝送手順に従って画情報をやりとりするためのファクシミリ通信制御部と、コンピュータネットワーク網を介して電子メールタイプで画情報を送信するための電子メール型通信制御部と、前記コンピュータネットワーク網を介して相手機と接続した状態で画情報を送信するためのリアルタイム型ネットワーク通信制御部と、宛先毎に直接送信で送信を行うかメモリ送信で送信を行うかの送信方法を指定する直接送信／メモリ送信指定手段とを備えたファクシミリ装置において、該直接送信／メモリ送信指定手段は、前記送信方法毎に前記電子メール型通信制御部で

送信を行うか前記リアルタイム型ネットワーク通信制御部で送信を行うかの指定も可能であり、前記コンピュータネットワーク網を介して発信するための宛先アドレスが送信先として指定された場合には、該指定された宛先アドレスに対応して前記直接送信／メモリ送信指定手段で指定された送信方法に基づく前記通信制御部を用いて送信を行うことを特徴としたものである。

【 0 0 2 2 】

請求項 5 の発明は、請求項 4 の発明において、前記指定された宛先アドレスに対応して前記直接送信／メモリ送信指定手段で指定された送信方法が前記直接送信の場合には前記リアルタイム型ネットワーク通信制御部で送信を行い、前記指定された宛先アドレスに対応して前記直接送信／メモリ送信指定手段で指定された送信方法が前記メモリ送信の場合には前記電子メール型通信制御部で送信を行うことを特徴としたものである。

【 0 0 2 3 】

【発明の実施の形態】

図 1 は、本発明によるファクシミリ装置の一実施例を説明するためのブロック図で、図中、1 はシステム制御部、2 はシステムメモリ、3 はパラメータメモリ、4 は画像メモリ、5 は原稿サイズ検知部、6 はスキャナ、7 は入力画像処理部、8 はプロッタ、9 はファクシミリ通信制御部、10 はネットワーク通信制御部、11 は符号化復号化部、12 は操作表示部、13 は宛先テーブル、14 はネットワーク送信方法指定手段、15 は直接送信／メモリ送信指定手段、16 は電話回線網、17 はコンピュータネットワーク網、18 は内部バス、19 は電子メール型通信制御部、20 はリアルタイム型ネットワーク通信制御部で、請求項 1 ～ 5 に対する構成である。

図 2 は、図 1 に示したファクシミリ装置に登録されている情報テーブルの一実施例を示す図で、図 2 (A) は自局情報テーブル、図 2 (B) は宛先テーブルである。

【 0 0 2 4 】

図 1 に示した実施例において、システム制御部 1 は、このファクシミリ装置の各部の制御処理を行う。システムメモリ 2 は、システム制御部 1 が実行する制御

処理プログラム及び処理プログラムを実行するときに必要な各種データなどを記憶するとともに、システム制御部 1 のワークエリアを構成するものである。

【 0 0 2 5 】

パラメータメモリ 3 は、このファクシミリ装置に固有な各種情報を記憶するものであり、この中には、図 2 に示したような、自局の名称と電話番号とコンピュータネットワーク網でのアドレスを登録した自局情報テーブル（図 2（A））と、各々の宛先について、名称と、電話回線網での宛先番号かコンピュータネットワーク網での宛先アドレスと、宛先アドレスが登録されている宛先については、送信する場合にリアルタイム型ネットワーク通信制御手段 2 0 を用いて送信するか電子メール型通信制御部 1 9 を用いて送信するかの送信方法も登録可能な宛先テーブル 1 3（図 2（B））とを有している。

【 0 0 2 6 】

画像メモリ 4 は、画情報の符号化圧縮時及び復号化伸長時に使用されるとともに、符号化圧縮された状態の画情報を多数記憶する。原稿サイズ検知部 5 は、読み取る原稿の用紙サイズを検知する。スキャナ 6 は、原稿画像を読み取るものである。入力画像処理部 7 は、スキャナ 6 からの原稿画像読み取り信号を処理して送信画像ファイルを作成する。プロッタ 8 は、所定のサイズ・解像度で画像を記録出力するものである。

【 0 0 2 7 】

操作表示部 1 2 は、このファクシミリ装置を操作するためのもので、各種の操作キー及び各種の表示器からなる。この操作表示部 1 2 は、コンピュータネットワーク網 1 7 を介して送信する場合に、電子メール型通信制御部 1 9 を用いて送信するか、あるいは、リアルタイム型ネットワーク通信制御部 2 0 を用いて送信するかを指定するネットワーク送信方法指定手段 1 4 と、電話回線網 1 6 を介してファクシミリ通信制御部 9 を用いて送信する場合に、直接送信で送信するかメモリ送信で送信するかを指定する直接送信／メモリ送信指定手段 1 5 も有している。

【 0 0 2 8 】

請求項 4，5 のファクシミリ装置の場合には、ネットワーク送信方法指定手段

14を持たず、宛先アドレスが送信先に指定された場合には、直接送信／メモリ送信指定手段15が、電子メール型通信制御部19を用いて送信するか、あるいは、リアルタイム型ネットワーク通信制御部20を用いて送信するかを指定する。そして、請求項5では、直接送信指定が、リアルタイム型ネットワーク通信制御部20を用いた送信に対応し、メモリ送信指定が、電子メール型通信制御部19を用いた送信に対応する。符号化復号化部11は、画信号を符号化圧縮するとともに、符号化圧縮されている画情報を元の画信号に復号化伸長するものである。

【0029】

ファクシミリ通信制御部9は、電話回線網16を介して相手機との間で所定のファクシミリ伝送手順に従って画情報をやりとりするものである。ネットワーク通信制御部10は、コンピュータネットワーク網17を介して相手機との間で種々のデータをやりとりするものであり、画情報データのコンピュータネットワーク網17に適した形式への変換と戻し、及び、電子メール型通信制御部19とリアルタイム型ネットワーク通信制御部20を有する。電子メール型通信制御部19は、コンピュータネットワーク網17を介して電子メールタイプの通信を行い、リアルタイム型ネットワーク通信制御部20は、コンピュータネットワーク網17を介してリアルタイム型の通信を行う。また、これらの各要素は、内部バス18に接続されており、各要素間でのデータのやりとりは、主としてこの内部バス18を介して行われる。

【0030】

図3は、本発明によるファクシミリ装置の動作の一実施例を説明するためのフローチャートで、請求項1, 2, 3に対する図1に示した実施例での動作フローである。

送信が検出された後（S1のYES）、操作表示部12から指定された宛先が、宛先テーブル13から指定されたものではなく（S2のNO）、また、電話回線網16を用いて発呼するための宛先番号である場合（S3のYES）、及び、宛先が宛先テーブル13から指定されたもので（S2のYES）、電話回線網16を用いて発呼するための宛先番号である場合には（S7のYES）、送信のス

タートキーが押された後に（S4のYES）、直接送信／メモリ送信指定手段15で指定された送信方法により、ファクシミリ通信制御部9を用いて電話回線網16を介して宛先番号に送信し（S5）、送信終了（S6のYES）で本動作を終了する。

【0031】

また、送信が検出された後（S1のYES）、操作表示部12から指定された宛先が、宛先テーブル13から指定されたものではなく（S2のNO）、また、コンピュータネットワーク網17を用いて発信するための宛先アドレスである場合には（S3のNO）、ユーザにより、電子メール型通信制御部19を用いて送信するか、または、リアルタイム型ネットワーク通信制御部20を用いて送信するかがネットワーク送信方法指定手段14によって指定される。送信のスタートキーが押された後に（S9のYES）、ネットワーク送信方法指定手段14で指定された通信制御部19、20を用いてコンピュータネットワーク網17を介して宛先アドレスに送信し（S10）、送信終了（S11のYES）で本動作を終了する。

【0032】

また、送信が検出された後（S1のYES）、操作表示部12から指定された宛先が、宛先テーブル13から指定されたもので（S2のYES）、コンピュータネットワーク網17を用いて発信するための宛先アドレスである場合には（S7のNO）、宛先テーブル13の指定された宛先アドレスに対応するネットワーク送信方法をネットワーク送信方法指定手段14に反映設定して表示する（S8）。ユーザは、この送信を電子メール型通信制御部19を用いて送信するか、または、リアルタイム型ネットワーク通信制御部20を用いて送信するかをネットワーク送信方法指定手段14で変更したい場合には、変更指定する。送信のスタートキーが押された後に（S9のYES）、ネットワーク送信方法指定手段14で指定された通信制御部19、20を用いてコンピュータネットワーク網17を介して宛先アドレスに送信し（S10）、送信終了（S11のYES）で本動作を終了する。

【0033】

請求項 4, 5 の発明は、図 1 に示した実施例において、宛先がコンピュータネットワーク網 1 7 を用いて発信するための宛先アドレスである場合に、ネットワーク送信指定手段 1 4 の代わりに直接送信／メモリ送信指定手段 1 5 を用いて、電子メール型通信制御部 1 9 を用いて送信するか、または、リアルタイム型ネットワーク通信制御部 2 0 を用いて送信するかを指定するようにしたものである。また、ここで、請求項 5 の発明は、直接送信／メモリ送信指定手段 1 5 の直接送信指定をリアルタイム型ネットワーク通信制御部 2 0 を用いた送信指定に対応させたもので、メモリ送信指定を電子メール型通信制御部 1 9 を用いた送信指定に対応させたものである。

【 0 0 3 4 】

【発明の効果】

(1) 請求項 1 の発明に対する効果

コンピュータネットワーク網を介して送信する場合に、電子メールタイプで送信するかリアルタイム型で送信するかを指定するネットワーク送信方法指定手段を設けているので、ユーザが必要に応じて指定することができ、使い勝手を改善することができる。

【 0 0 3 5 】

(2) 請求項 2 の発明に対する効果

各々の宛先について電話回線網を用いて発呼するための宛先番号かコンピュータネットワーク網を用いて発信するための宛先アドレスかを登録し、各々の宛先アドレス毎に電子メールタイプで送信するかリアルタイム型で送信するかをも登録できる宛先テーブルを備えているので、送信毎に電子メールタイプかリアルタイム型かを指定する手間を省略することができ、使い勝手をより改善することができる。

【 0 0 3 6 】

(3) 請求項 3 の発明に対する効果

請求項 2 の効果に加えて、宛先テーブルの宛先アドレスが送信先に指定された場合には、登録された送信方法をネットワーク送信方法指定手段に反映設定して表示するので、送信前に必要に応じて変更可能であり、使い勝手をより改善する

ことができる。

【 0 0 3 7 】

(4) 請求項4の発明に対する効果

請求項1に対して、宛先アドレスへの送信の場合には、電話回線網を介した送信方法指定手段である直接送信／メモリ送信指定手段をネットワーク送信方法指定手段に代用するようにしたので、特別なネットワーク送信方法指定手段が不要となり、低コスト化を図ることができる。

【 0 0 3 8 】

(5) 請求項5の発明に対する効果

請求項4の効果に加えて、直接送信／メモリ送信指定手段を、宛先アドレスへの送信時には、直接送信指定はリアルタイム型の送信指定に対応させ、メモリ送信指定は電子メールタイプの送信指定に対応させているので、機能的に分かり易く、使い勝手を改善することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明によるファクシミリ装置の一実施例を説明するためのブロック図である。

【図2】 図1に示したファクシミリ装置に登録されている情報テーブルの一実施例を示す図である。

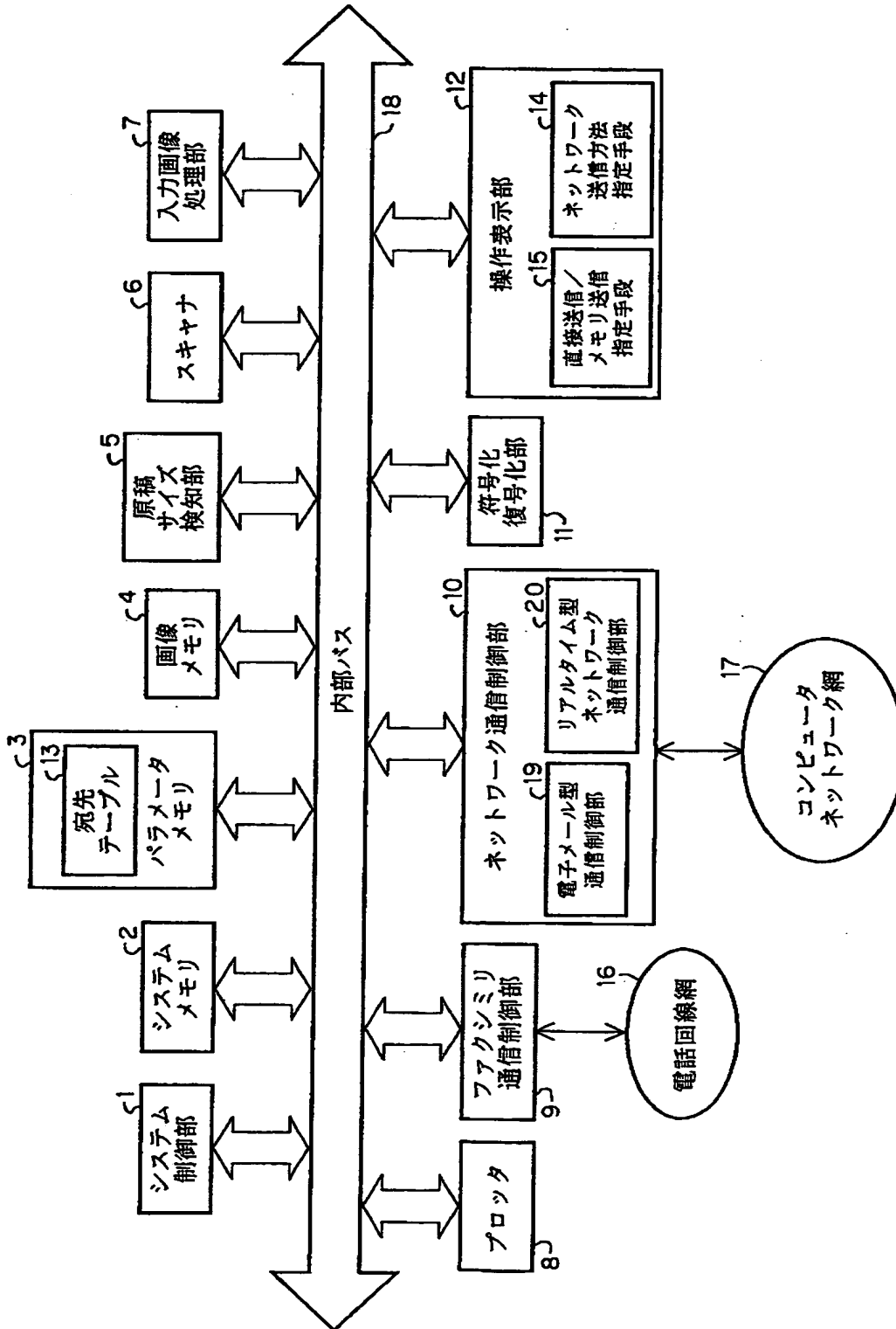
【図3】 本発明によるファクシミリ装置の動作の一実施例を説明するためのフローチャートである。

【符号の説明】

1…システム制御部、2…システムメモリ、3…パラメータメモリ、4…画像メモリ、5…原稿サイズ検知部、6…スキャナ、7…入力画像処理部、8…プロッタ、9…ファクシミリ通信制御部、10…ネットワーク通信制御部、11…符号化復号化部、12…操作表示部、13…宛先テーブル、14…ネットワーク送信方法指定手段、15…直接送信／メモリ送信指定手段、16…電話回線網、17…コンピュータネットワーク網、18…内部バス、19…電子メール型通信制御部、20…リアルタイム型ネットワーク通信制御部。

【書類名】 図面

【図1】



【図 2】

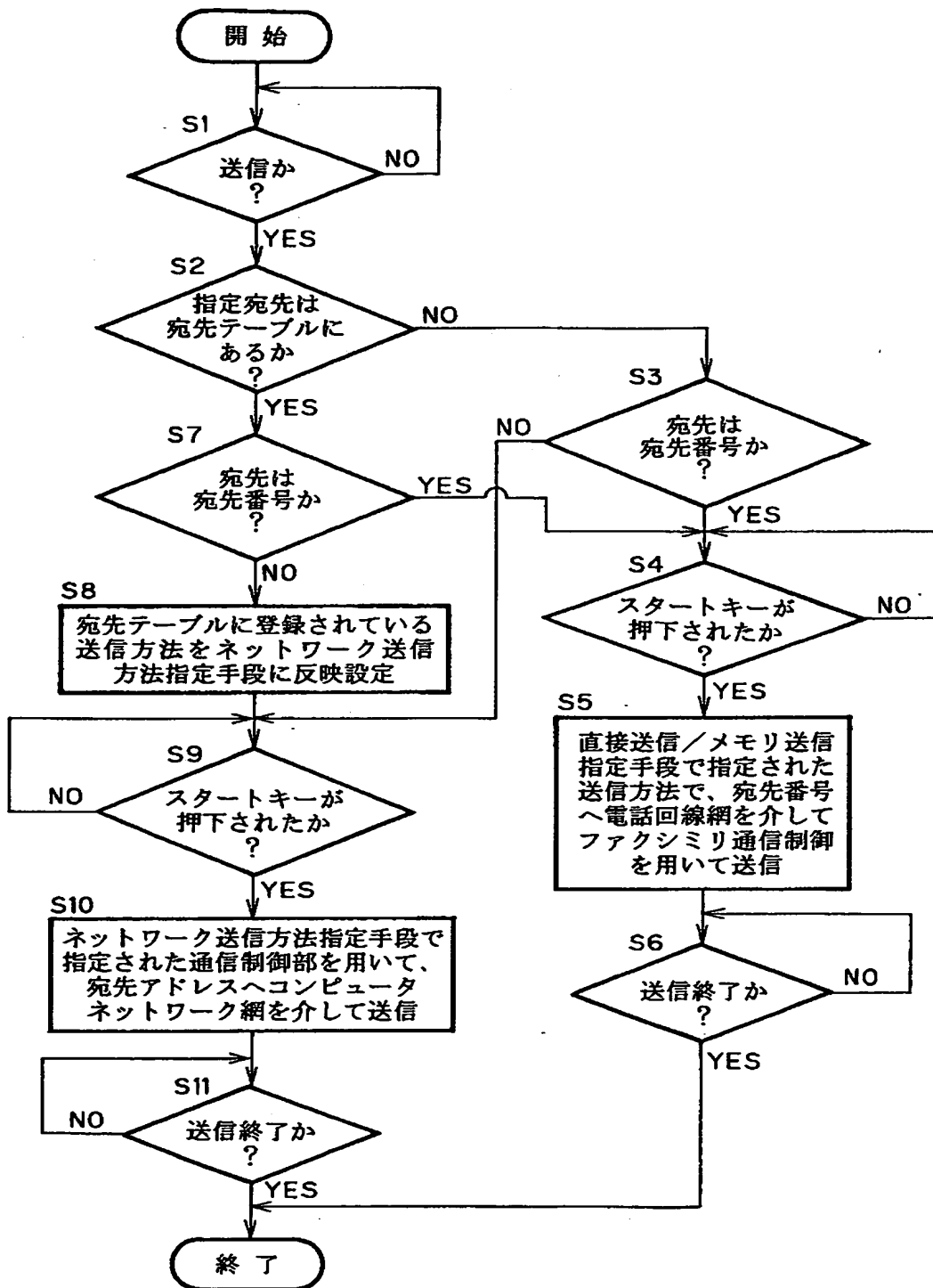
(A)

自局名称	自局電話番号	自局ネットワークアドレス
Z Z Z c o r p .	046-234-****	zzz@atugi.co.jp

(B)

短縮／ ワンタッチ	相手先 名称	電話回線 宛先番号	ネットワーク 宛先ドレス	ネットワーク送信方法
ワンタッチ01	A A A	045-678-****	aaa@toky.co.jp	リアルタイム型
ワンタッチ02	B B B		ccc@ehim.co.jp	電子メール型
ワンタッチ03	C C C			
短縮01	D D D	099-234-****	eee@osak.co.jp	電子メール型
短縮02	E E E	0234-56-****		
短縮03	F F F			

【図3】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 送信毎に電子メールタイプかリアルタイム型かを適宜切り替えることが可能なファクシミリ装置を提供する。

【解決手段】 送信が検出された後（S1のYES）、操作表示部から指定された宛先が、宛先テーブルから指定されたものではなく（S2のNO）、また、コンピュータネットワーク網を用いて発信するための宛先アドレスである場合には（S3のNO）、ユーザにより、電子メール型通信制御部を用いて送信するか、または、リアルタイム型ネットワーク通信制御部を用いて送信するかがネットワーク送信方法指定手段によって指定される。送信のスタートキーが押された後に（S9のYES）、ネットワーク送信方法指定手段で指定された通信制御部を用いてコンピュータネットワーク網を介して宛先アドレスに送信し（S10）、送信終了（S11のYES）で本動作を終了する。

【選択図】 図3

特2000-129161

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000006747]

1. 変更年月日	1990年 8月24日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都大田区中馬込1丁目3番6号
氏 名	株式会社リコー